



ひよどりっ子

第50号
R1.10.13

北区青少年育成協議会ひよどり台支部
発行責任者：支部長 林 喜久治

TEL・FAX：743-0798
編集・印刷：株式会社 北 欧

「教育」から「共育」へ

ひよどり台小学校校長 川口 嘉之

平成から令和に変わる節目の年度に、ひよどり台小学校に赴任してまいりました校長の川口です。よろしくお願いたします。

ひよどり台小学校に来て、半年が過ぎようとしています。初めに感じたのが、保護者・地域の方々が非常に学校に近い関係であるということです。また、PTAの組織もしっかりしており、子供たちに寄り添った活動がされています。

このような中で育った子供たちは、真の挨拶ができていのように思います。朝、校区を回っていると、遠くから自然な心地よい挨拶が届きます。言わされている挨拶でもない、心からの言葉を感じます。これは、成熟したこの町が生み出したものと実感しています。

さて、新しい学習指導要領が、令和2年度から小学校で、そして令和3年度から中学校で全面実施されます。

今回の改訂は、「社会に開かれた教育課程」を理念に掲げています。この「社会」というのは、未来に向かう大きな「社会」と身近な「地域社会」という二つの意味を持っています。未来の社会を創造していくひよどり台の子供たちに必要な力をつけるために、児童生徒を包んでくださっているひよどり台の保護者、地域の方々との繋がりを強くしていくことをこの理念は、求めています。

ここひよどり台には、今回の学習指導要領の理念の実現に向けた素地が十分に育ってきていると言えます。

「共育」という言葉を目にしたことはありませんか。まさに、この町では昔から実践されています。よく言われる、「地域コミュニティの希薄化」は、この町とは無縁なような気もしています。

私は、「共育」に関して二つの見方をします。一つは、学校、保護者、地域が関わり合って「共に育てる」。「共に育てる」という意識は、この町の方々には、脈々と受け継がれていると感じています。もう一つは、子ども同士が関わり合って「共に育つ」という見方です。一人一人が自尊感情を高めていけば、他者に対してもやさしく接することができるはずで

す。「教える」から「共に育てる」「共に育つ」へ変換することで、児童生徒自らが未来を切り開く力を身につけていくように思います。

学校で、コミュニティで知識を身に付け、その知識を生かして知恵を出し、未知の状況にも対応できる力を身に付けてほしいものです。

学校が、「情報をつなぐ」「組織をつなぐ」「郷土をつなぐ」そのような働きができるよう取り組んでまいりたいと思います。ご協力よろしくお願いします。



ひよどり台の良さを感じて…

ひよどり台保育所長 宮本 公恵

今年の4月にひよどり台保育所に着任しました宮本です。

私がひよどり台保育所に来てすばらしいと感じたことは、まず自然が豊かなことです。

私は電車とバスを使って通勤していますが、ひよどり台に近づくにつれ、緑の木々や山々が視界に入り、景色が変わっていく様子やバスを降りた時の澄んだ空気に触れ、癒されたり、清々しい気持ちになります。

保育所の中には他区の保育所にはほとんどない畑があり、子ども達は畑で植物を育てるために、毎日水やりや雑草ぬきに励んでいます。



広々とした恵まれた土地でたまねぎ、じゃがいも、オクラ、なす、トマトなどたくさん収穫することができました。収穫したものは調理してもらっていただくのですが、自分達が愛情を込めて

育てたものは、苦手な野菜でも不思議と食べることができたり、食べ物のありがたみ、農作物を作っている人、調理してくれる人への感謝の気持ちも生まれます。また植物の生長の過程を知ることができ、子ども達は貴重な体験をしています。すばらしい環境に保育所があることに日々喜びを感じています。

そしてもうひとつは“人とのつながり”“人の温かさ”です。保育所の近くで開催された“ひよどり台の夜店”は温かみがあり、どこか懐かしく、自分自身も子どもの心にもどることができました。なにより地域の方々の連携、一体感を感じたひとときでもありました。

また日頃より、地域の方々には、保育所の近くで「ママシが出たよ」「セアカゴケグモがいるよ」などの情報をいただいたり、保育所のことを想い、親身になっていろいろな案を考えてくださったり、アドバイスをくださったり…、保育所が地域の皆様に見守られたり、支えられていると感じ、感謝の気持ちでいっぱいです。近隣の方々にはご迷惑をおかけすることもあります。これからも何卒ご支援、ご協力よろしくお願いします。

ひよどり大好き！ひよどり台児童館大好き！

ひよどり台児童館長 田中 重明

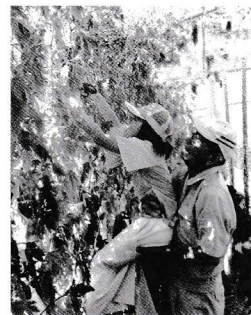
8月中旬、今日も児童館には子どもたちのにぎやかな声が朝から響いていました。ひよどり台中央公園での外遊びから戻り、汗を拭いて顔を洗ってからこれを書いています。暑い日でも子どもたちは外遊びが大好きです。

そうそう、自己紹介を忘れていました。「初めまして！田中 重明（たなか しげあき）です。」4月から再任用でひよどり台児童館長を拝命しました。元中学校教員で、最後の4年間は北神戸中学校という神戸市最北端のマンモス校（全校生約850名）で勤務していました。これ以上は語りません、別に気になる人もいられないでしょうから…。私のプロフィールが気になる方は、ひよどり台児童館にお越しください。詳しくお伝えします（笑）

冗談はさておき、ひよどり台地域で児童館長として数カ月働かせていただいて感じたことを書きます。高齢化率が40%近いということで正直、元気がない町なのかなと思っていましたが、誤解でした。地域活動が盛んで、“地域の子は地域で育てる”という意識が高いなあ！と感心しています。毎月のプレーパーク、小学校に常駐する子どもたちを見守る会、ひよどり台クラブの宿題教室、ひよどり台交流プラザでのゴーヤの収穫体験など、枚挙にいとまがありません。

そんなひよどり台で、児童館の果たす役割は何か？ということに思いを巡らせています。そもそも児童館とは何か？当然、子どもの安全・安心な遊び場、居場所であることが第一でしょうが、子どものためだけに児童館があるとも思っていません。児童館は、地域の皆さんが子どもたちのために活躍する場でもあるべきです。ひよどり台だからこそ、そういう役割が児童館に求められており、児童館を通じて地域の子どもと大人の深いつながりを生み出していければいいなあと考えています。

一方、学童保育の増加・高学年保育、施設整備の老朽化対策など、喫緊の具体的課題への対応も進めなければなりません。目の前にある課題解決を図りながらもしっかり先を見据え、地域と手を携え「大人も子どももひよどり大好き、ひよどり台児童館大好き」を目指し、「故郷はひよどり台」と言える子らを育てる一翼を担えるような児童館になりたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



子どものページ

どんどまつり



(中学2年)

僕は、昨年のどんどまつりにも生徒会として参加させてくださいました。昨年僕が参加させていただいたのは、どんどまつりだけで、竹伐り作業には、参加しませんでした。昨年までは、燃える竹を見てその竹をとってきている人の苦労など考えていませんでした。しかし、今回竹伐りをして、竹を伐ってくるのがどれだけ大変なのかわかりました。とても大変でしたが、楽しかったです。どんどまつり当日、僕が公園に来てみると、竹が組まれていました。竹を組むのを手伝わせていただきましたが、どのように組めば、良いか考えることができました。点火する時は、ちゃんとできるか心配だったけれど、しっかりと火をつけられたので、良かったです。その後のティッシュ配りでは、積極的に渡すことができました。準備する側として参加できて良かったです。

(小学6年)

どんどまつりの準備をしているところを初めてみて、とても大変そうで今まで、私たちのために、いろいろやってくれてたことが分かり、あまり行ってなかった行事も出来るだけ行こうと思いました。今までどんどまつりに行っても、やきいもをもらったりしてただけだったから、これからは最初から最後まで、しっかり行事に参加しようと思いました。今まで、PTAの方々がかけて下さっていたのに協力出来なかったのが、これからは、少しでも協力ができればいいなと思いました。中学生の発表のしかたが、すごくおとなみたいでした。みんなどん



ど祭りを見て、すごいって声がたくさん聞こえてきました。これからも続けてほしいなと思いました。大人の方はつかれてるはずなのにみんなに笑顔でせつてたのがすごいなと思いました。一つの作業にたくさんの人が一つになって動いているのがすごいと思います。一人一人自分で考えて行動ができていてすごいなと思いました。

(小学6年)

私はひよどり台のどんど祭りに初めてきました。意外と燃やす所の高さがとても高かったので「すごい高いな。」と思いました。どんど祭りをする前の準備のときPTAの方々や見守る会の人たち中学生の人もがんばって用意を手伝っていたので大変そうだなと思ったけど楽しそうにやっていたので「楽しいのかな」と思いました。どんど祭りをやっているときにやきいもとホットカルピスができました。やきいもは甘くてとてもおいしかったです。ホットカルピスも寒い日だったけどホットカルピスでとても温かくなりました。どんど祭りをするのは来年だけ来年もまたどんど祭りに行きたいです。

(中学2年)

今日はすごくいい経験になりました。地域の方々には毎年どんど祭りの為に竹を伐りに行ってくださっていて、それに今回、協力させていただくことができ本当に良かったです。初めての体験で少し難しかったけど、少しずつ慣れていくことができました。竹をたくさん切れました。地域の方々の役に立つことができよかったです。一番大変だと思ったのは竹を縛るのが大変だと思いました。生徒会のメンバーと協力して頑張ることができました。地域の方々から干し柿をいただきました。皆で食べてとても美味しかったです。久しぶりに食べてすごく甘かったです。難しくて切りにくい時等には地域の方々のおかげで、上手くできました。声かけをすることの大切さや協力することの大切さを改めて感じる事ができました。今回参加させていただき本当にありがとうございました。



ふれあい春の子どもまつり

(中学2年) [担当ゲーム たこやきビンゴ]

今年の「ふれあい春の子どもまつり」は実施する側として2回目の参加となりました。私は一昨年まで「ふれあい春の子どもまつり」に参加したことがなく、昨年初めて実施する側として参加させていただきました。昨年の反省を活かし、回転率の向上と分かりやすいゲーム作りを主眼にゲーム作りを進めてきました。私が担当した「たこやきビンゴ」では、タコ焼き台の黒画用紙がはがれてしまっていて、見た目が悪かったため、古い画用紙をはがし、上から新しい画用紙をはり、きれいにしました。当日は雨が降ってしまい「ふれあい春の子どもまつり」は中止となってしまいましたが、来年度は未使用のきれいなゲームをそのまま使用することができるので良かったです。それで浮いた時間をゲームの質向上に使ってくればさらに楽しい「ふれあい春の子どもまつり」になると思います。来年度は実施する側では無く、楽しむ側として参加したいです。

(中学2年) [担当ゲーム POINTS サッカー]

今回、実際にゲームを実施することができませんでした。今までの準備を通して得たものはとても多かったです。全員で協力し合って1つのものをつくる、ということは今までは行ってきましたが、自分一人で1つのものを担当し、つくるということはあまり経験がなかったので、今までとはまた違った大変さ、達成感を味わうことができました。また、大人の方々とのゲームの打ち合わせの際には驚かされるのが非常に多かったです。ゲームの企画書の説明をしていくなかで、自分ではしっかり考えてきたつもりだったのですが、改善点が多く見つかったので、自分の考えの甘さを身をもって感じる事ができました。ここが一番苦労した点だと思います。昨年もふれあい春の子どもまつりにゲームのスタッフとして参加させていただいたのですが、その中で苦労したことは、小さな子供達のあいてのしかたでした。自分にとっても特に苦手なことだったので、今年は昨年の経験から、イメージだけ

も練習してきました。実際に行うことができなかったのですが、意味はなかったと思います。今回に向けての全過程を通して、全てが自分にとってとても良い経験となりました。



(中学2年) [担当ゲーム フリスビー入れ]

今回は、あいにくの雨で中止となってしまいました。たくさんの時間をかけてきたのでとても残念でした。地域の代表の方々とお話の話し合いをしました。本当にすみずみの細かい所までを見て意見を出し合いました。たくさんの方々に支えられながら準備してきました。学校でも、準備物がしっかりと備っているかの確認を徹底し、当日失敗することがないように頑張ってきました。今日、中止になったということは本当に残念です。だけど、今まで準備してきた事はきっと来年の「ふれあい春の子どもまつり」につながっていくと私は思っています。今年できなかった分、来年はさらに良いものになると思います。これからも、地域の人達の触れ合いの場の大切さをしっかり考えていこうと思います。ひよどり台の良き伝統を伝えていきたいです。貴重な経験ができて本当に良かったです。

(中学2年) [担当ゲーム わなげ]

今回の「ふれあい春の子どもまつり」は私にとって大きな経験となりました。当日は雨天により中止になりましたが、企画から準備の過程のなかでも、沢山やるべきことがあり、地域行事の運営の大変さを知ることができたと思います。何のゲームをするかやそれには何が必要か、など考えないといけないことも多く、色々な人の力が必要で地域の人とのつながりの大切さも学ぶことができました。同じ実行委員の人たちと子どもたちに楽しんでもらうためにはどうしたらいいか、と考えゲームにも工夫をしました。スタンプカード作りも、一から作るのはとても大変でしたが、やりがいがあり、とても楽しかったです。子どもまつりの実施ができなかったのはとても残念でしたが、多くのことを学ぶことができたので良かったです。来年は運営にたずさわることにはできませんが、遊びにこようと思います。

(中学2年) [担当ゲーム つり]

今回はふれあい春の子どもまつりが、あいにくの雨で中止になってしまいましたが、今までの準備をしてきて、私は、過程がすごく大切なことなんだと改めて思いました。私が特に感じたことは、地域との協力です。今回ふれあい春の子どもまつりの会議があった際には、地域の方々のご意見を取り入れたり、私たち生徒会の意見を提案させていただいたり、他の地域ではあまりない経験をさせていただきました。地域との交流があるからこそできる地域行事は、私たちにとって、とても良いものになると思います。ゲームをつくるにあたって、私は小さい子に安全で楽しいゲームをしてもらうために、昨年のアイデアとはちがった案を考えたり、ゲームをするときにスムーズにすすめられるようにいろいろな工夫をかさねました。地域をとおしてふれあい春の子どもまつりなどの地域行事がどのようにつくられていっているかがよくわかりました。これからの学校生活に今回の活動をいかせるようにしたいです。



(中学1年) [担当ゲーム ペットボトルボーリング]

今回、ふれあい春の子どもまつりでペットボトルボーリングを担当させていただきました。小学生の頃、このふれあい春の子どもまつりでこのゲームをさせていただいたことがあるので、どのようなふうに進めるのかは分かっていた。しかし、実際に準備をするとそれまでにどれだけ大変なものかがよく分かりました。まず、今年、開きする時の準備物などを決める会議に参加しました。今まで、経験したこともないような会議はきんちょうしました。また、途中何を言っているのかがよく分からなくなってしまうこともあり。会議以外にも、当日に近くなるにつれて放課後に集まることも多くなり、大変でした。それでも、準備がととのっていくと気持ちが楽になり、当日が楽しみになりました。また、今回この春の子どもまつりは大勢の人の協力のもとで開きされているということが分かりました。今日は雨で中止になってしまいました。来年は、先輩方はいませんが今年経験させていただいたことをもとに、このふれあい春の子どもまつりを成功させたいです。



地域の芽（目）

ひよどり台小学校・鶴台中学校兼任学校司書 桑原 伊佐美

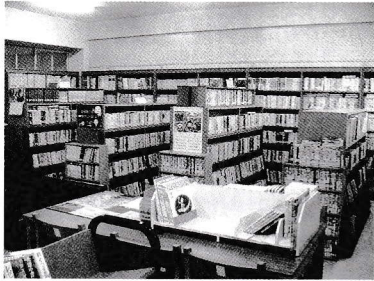
今年度、ひよどり台小学校・鶴台中学校兼任学校司書に就任いたしました桑原です。

学校司書というの皆さん聞きなれなかったことと思います。

これまで、先生がお忙しいところを図書館のこともしてくださっていましたが、平成26年度からそれぞれの学校に学校司書を導入することが決まり、順次、配備されています。

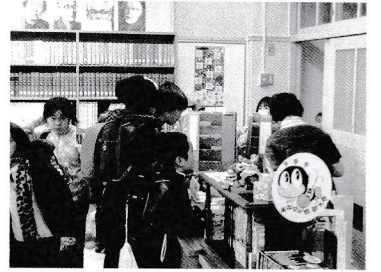
図書館のことを専任で児童、生徒に使いやすく指導、整備等をしていくことになります。

ひよどり台小学校・鶴台中学校に着任して感じたことは、地域の力のつながりです。



小学校図書館では、毎月の読み聞かせに来てくださり、中学校でも様々な地域行事にかかわる機会が多いこと。今の時代、隣りの方もわからないと言われていたりしていますが、ひよどり台は地域の方が子ども、生徒のことをよく知っておられ、見守ってくださっています。こうした環境の中で成長していく子ども、生徒たちの将来はとても楽しみです、加えて「本」を通じて将来に役立つ一助になればと思っています。

兼任ということもあり、行き届かないところが多々あるかと思いますが、これからもご支援とご協力をよろしくお願いいたします。



ひよどり台支部活動報告

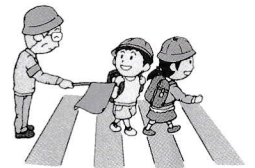
- H31.3.18 第37回ふれあい春の子どもまつり
1月14日、2月10日と子ども委員の熱意のこもった充実した実行委員会での準備により、多くのゲームが計画され、開会時には中学校吹奏楽部の演奏、閉会前には小学校のひよどり台太鼓の演奏で締め、大勢の子どもの参加だけでなく、地域の皆様・保護者の方々が駆けつけていただき予定でしたが、雨のため中止になりました。
- R1.6.7 児童館運営委員会
- 6.11 支部総会（令和元年度のスタート）
- 7.20 エポック夜店
- 7.22-8.9 交流プラザ ラジオ体操
- 8.11 ひよどり台夏まつり
- 10.13 青少協第2回支部会議
広報誌No.50発行（団地内全4,000戸に配布）



今後の予定

- R1.10.27(日) 秋を楽しむハイキング（しあわせの村）
デイキャンプ場で実施。詳しくは別に、学校・保育所などを通じてお知らせします。
- R2.1.13(月) どんどまつり

- 登校時毎日・下校時随時の通学路の交通安全指導
- 定例の夜間パトロールに加えて、夏休み中の7/21のエポック夜店、8/11夏まつりのパトロールを小・中学校PTAの方々と実施
- 夏休み中学校PTAの夜間パトロールに同行
- こども110番の家・店
小学校PTAのご尽力で、174か所のご協力をいただき地域内に所在し、子ども達の安全を見守っていただいています。
- ひよどり台小学校のこどもたちを見守る会(5/18総会)
- ひよどりっ子のびのびひろば(1・2年生毎週木曜日)
- ふれあいのまちづくり協議会(4/13総会)
- ひよどりふれあい懇話会(6/26)
- ひよどり台元気クラブ
- ひよどり台交流プラザ
- ひよどり台っ子応援団



編集後記

秋の行事をお知らせする号です。2学期早々のお忙しい中でのお願いにもかかわらず、原稿をお寄せいただきました皆さま、ありがとうございます。
紙面をお借りいたしまして、厚くお礼申し上げます。
子どもたちの感想文もご覧願います。

(小学校PTA)

秋を楽しむハイキング

さわやかな秋の一日をご家族・友だちとハイキングのあと、みんなで楽しくバーベキュー。

ひよどり山プレーパーク共催

- 日 時 10月27日(日) 午前9時集合
- 場 所 ひよどり台中央公園 ⇄ しあわせの村
- 参加費 こども:300円 おとな:500円

